

【件名】

令和7年度中野区デジタル地域通貨事業の実施について

【要旨】（目的・内容・対象・時期・今後の方向等）

区は、「区内経済・産業の活性化」及び「区の政策・施策の側面的推進」を目的として、令和6年11月から「デジタル地域通貨事業」を開始し、令和6年度の実施状況等とそれらを踏まえた令和7年度の実施内容について報告する。

1 令和7年度の実施スケジュール

月	内容
6月	・プレミアム付ナカペイ販売申込【3日～20日】 ・決済音を子どもの声で「ナカペイ」に変更【23日頃】 ・店舗で利用できるクーポン機能の利用開始（発行基準、広告料等の決定）【下旬】
7月	・プレミアム付ナカペイ販売【3日～31日】 ・商店街イベントでのポイント付与（以降、計5商店街において実施）
8月	・ふるさと納税の返礼品にナカペイのポイントを追加
9月	・商店街等からのお知らせ機能の利用開始（配信基準、広告料等の決定） ・ユーザビリティ向上のためのアプリ改修（店舗宛て決済完了メール配信機能の追加、決済画面の改修等）
10月	・ふるさと納税の返礼品にナカペイの啓発グッズ（ウインドブレーカー）を追加 ・コミュニティポイントの導入（健幸ポイントの付与開始）
11月	・プレミアム付ナカペイ販売申込
12月	・プレミアム付ナカペイ販売 ・スタンプラリー機能（商店街イベント等で活用予定）の追加
3月	・産学官連携事業（ナカペイの経済的効果の検証及び活用に関する提案、研究等） 最終報告

2 年間を通じた取組

(1) 利用者及び加盟店増加に向けた取組

特にプレミアム付ナカペイの申込前及び申込期間中において、利用者及び加盟店増加に向けた取組を強化する。令和7年度から新たに取組む内容は次のとおり。

- ・企業への社員向け広報の依頼
- ・大学と連携した学生への周知（ナカペイの周知について学生と区職員との意見交換等）

- ・区、区内団体が実施するイベント（里・まち連携自治体物産展、にぎわいフェスタ、スマホカフェ、やきいもフェスなど）での周知
- ・ナカペイのアンケート機能「使いたいお店のリクエスト」結果に基づく加盟店開拓
- ・エリア別や業種別の加盟状況などを踏まえた加盟店開拓
- ・「中野本」掲載店舗、障害者就労施設、大学・専門学校内の食堂・売店等への加盟依頼

(2) 通常チャージにおけるインセンティブの検討

通常チャージにおけるインセンティブ（ポイント還元等）について、プレミアム付ナカペイ販売の期間中以外の時期に試行で実施することを検討していく。

(3) セキュリティ強化に向けた検討

通常チャージにおいては不正利用防止等の安全確保の観点から、クレジットカードによるチャージはできない仕様としているが、利用者の利便性を向上するため、アカウント認証をマイナンバー認証と連携するなどにより、通常チャージでクレジットカードを使用可能とすることを検討していく。

3 今後に向けて

令和6年度デジタル地域通貨事業について、詳細の分析を行うとともに、産学官連携事業での検証や提案を踏まえながら、本年11月に実施するプレミアム付ナカペイの販売や令和8年度の当事業について検討を進めていく。

あわせて、令和8年度に向けて、副区長を座長としたプロジェクトチームによりコミュニティポイントの導入（給付事業への活用等を含む）について検討をおこなう。

【参考資料】令和7年度の取組（令和6年度末に整理した内容）

1 地域経済の活性化に向けて

(1) 利用者を増やすための取組（目標：利用者数 10万人以上）

- ・中野区外住民（在勤者）や20歳代（学生を含む）への情報発信などを強化する。
- ・ユーザビリティを向上するため、アプリを改修する。
- ・地上機器を活用したナカペイ広告の検討など、さまざまな機会・媒体を活用して広報する。

(2) 加盟店を増やすための取組（目標：加盟店舗数 2,000以上）

- ・ナカペイのアンケート機能「使いたいお店のリクエスト」結果に基づき、加盟店を開拓する。
- ・エリア別や業種別の加盟状況などを踏まえて、加盟店を開拓する。
- ・ユーザビリティを向上するため、管理画面・機能等を改修する。
- ・決済音を変更する（現状のコイン音を、子どもの声で「ナカペイ」にする）。

(3) 地域の経済効果を高めるための取組

- ・プレミアム付きナカペイの販売 販売計画／流通総額18億円
第1弾：6月申込、7月販売（チャージ） 第2弾：11月申込、12月販売（チャージ）
※令和6年度の実施状況等を踏まえ、プレミアム率や販売方法を決定する。
- ・ナカペイの運用データ等に基づく産学官連携による分析や提案、分析結果の経済団体や商店街等への提供
- ・商店街イベントでのポイント付与（景品、スタンプラリー）
- ・店舗で利用できるクーポンの発行（2月17日から試験運用中）
- ・アプリの店舗からのお知らせ機能の利用開始
- ・ナカペイでしか購入できない商品やサービスの開発誘導・促進

2 持続可能な地域通貨事業に向けて

(1) コミュニティポイントの導入、さらなる検討

- ・健幸ポイントや高齢者会館事業でのポイント付与開始
- ・令和8年度以降に導入する事業の具体的検討（給付事業への活用を含む）

(2) 歳入確保に向けた取組

- ・ふるさと納税の返礼品にナカペイのポイント、ナカペイの啓発グッズを追加
- ・アプリのクーポンやお知らせ機能を活用した広告料徴収の検討
- ・手数料徴収の対象や条件の検討

(3) 通常チャージにおけるインセンティブの検討

- ・チャージや利用時におけるポイント還元の見直し